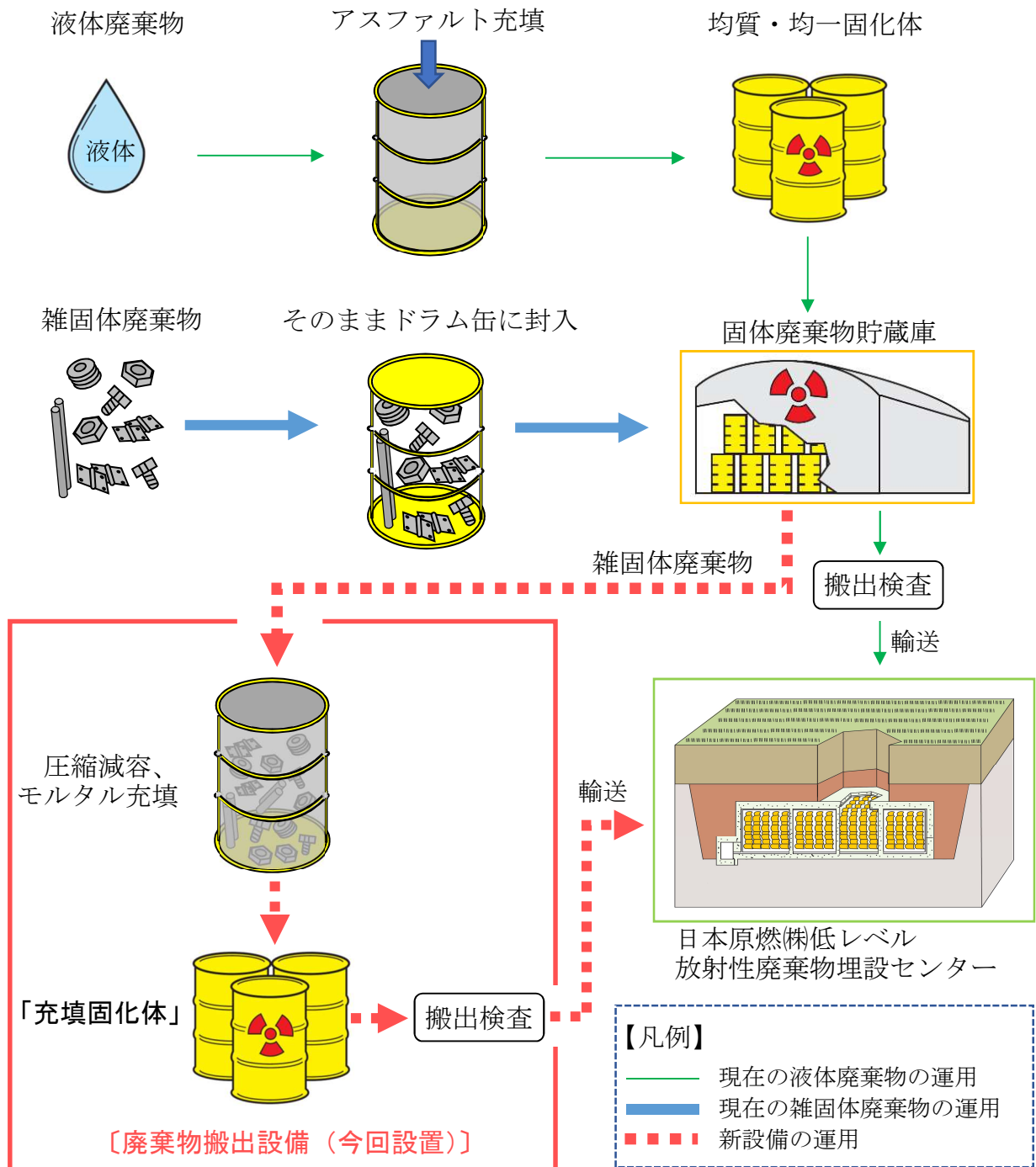


川内原子力発電所の廃棄物搬出設備の概要

1. 概要

低レベル放射性廃棄物のうち雑固体廃棄物について、圧縮減容した後に、モルタルで固化し充填固化体にした上で搬出するための「廃棄物搬出設備」を設置します。

なお、液体廃棄物については、運転開始当初から固化設備を設置しており、アスファルトで固化し均質・均一固化体にした上で搬出を行っています。



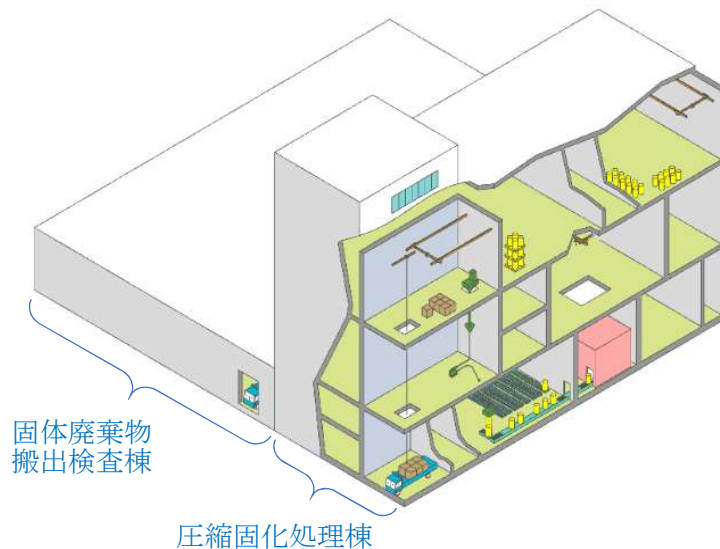
※玄海原子力発電所では、充填固化体及び均質・均一固化体を製作し搬出を行っています。

2. 設備構成

廃棄物搬出設備を設置する建屋は、圧縮固化処理棟と固体廃棄物搬出検査棟で構成されます。

圧縮固化処理棟には、雑固体廃棄物の圧縮減容装置及びモルタル充填装置を設置し、固体廃棄物搬出検査棟にて搬出検査を行います。

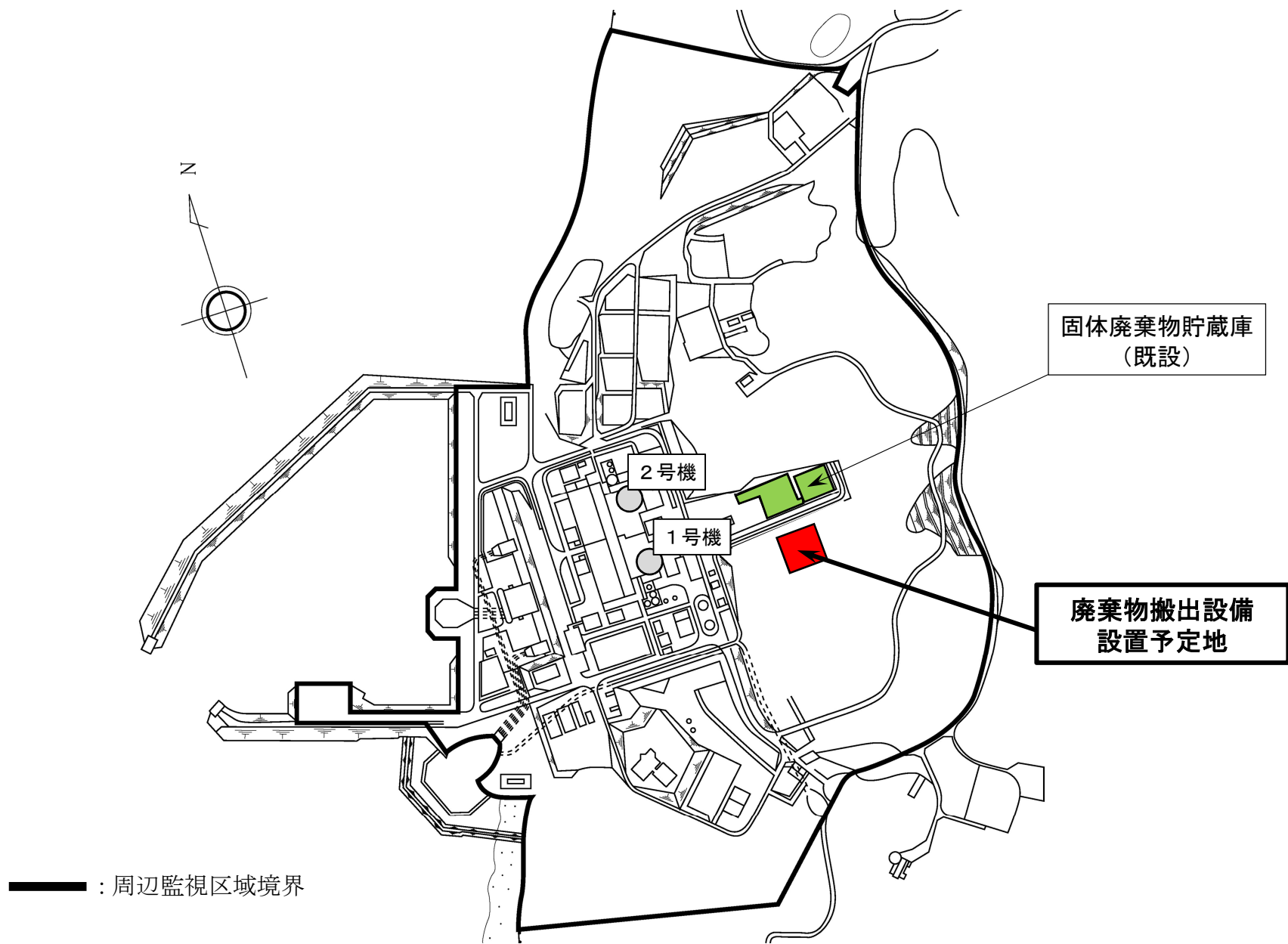
項目		概要
圧縮固化処理棟	圧縮減容装置	ドラム缶の本数を減らすため、雑固体廃棄物を圧縮して容積を減らします。
	モルタル充填装置	雑固体廃棄物をモルタルで固めて充填固化体を製作します。
固体廃棄物搬出検査棟		製作した充填固化体の放射線量等が搬出するための条件を満たしているか検査を行います。
処理計画		約1,500本/年
建屋規模		〔圧縮固化処理棟〕 約25m×約60m、高さ：約30m 〔固体廃棄物搬出検査棟〕 約45m×約60m、高さ：約6m



【建屋外観図】

3. 工事時期

2021年度～2025年度目途



— : 周辺監視区域境界

【発電所全体配置図】